

# フランスにおける「契約の法性決定」(一)

森 田 修

はじめに

第一節 「契約の法性決定」とはなにか

第二節 学説小史

第三節 本稿の課題

第一章 「契約の法性決定」の一般理論

第一節 「契約の法性決定」の目的

第二節 「契約の法性決定」の対象要素

第二章 意思と「契約の法性決定」

第一節 「契約の法性決定」と契約意思との理論的關係

第二節 「契約の法性決定」と「契約の解釈」

第一款 通説的理解とその批判

第二款 Rochfeldの所説

第三節 「契約の法性決定」の対象としての当事者の合意

第一款 「契約の法性決定」の基準時

第二款 「契約の法性決定」における考慮対象

第四節 当事者の合意の対象としての「契約の法性決定」

第一款 「契約の法性決定」の合意による変更可能性に

関する学説

第二款 判例における「契約の法性決定」の合意による

変更の実際(以上、本号)

第三章 裁判所と「契約の法性決定」

第四章 契約類型と「契約の法性決定」

おわりに